

第3回 岡山県道路メンテナンス会議

○日 時：平成27年1月9日（金）
10時00分～12時00分
○場 所：国土交通省 中国地方整備局
岡山国道事務所 3階会議室
（岡山市北区富町2丁目19－12）

議 事 次 第

1. 開会
2. あいさつ（国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所長）
3. 議事
 - （1）道路橋等（法定点検）5ヵ年点検計画の策定について
 - （2）岡山県跨道橋連絡会議（仮称）の設置について
 - （3）JR跨線橋調整会議について
 - （4）その他
4. 連絡調整
5. 閉 会

第3回 岡山県道路メンテナンス会議 出席者名簿

	組 織 名	役 職	氏 名	代理出席者	
				役 職	氏 名
会長	国土交通省中国地方整備局	岡山国道事務所長	渡邊 良一		
副会長	岡山県土木部	道路建設課長	山本 真司		
副会長	岡山県土木部	道路整備課長	中山 基隆		
副会長	岡山市都市整備局	道路管理課長	頼経 秀智		
副会長	西日本高速道路株式会社中国支社	岡山高速道路事務所長	梅川 真三郎	副所長	久保 幸治
	本州四国連絡高速道路株式会社	岡山管理センター所長	遠藤 淳宏		
	倉敷市	土木部長	平松 佳樹		
	津山市	都市建設部長	村上 祐二		
	玉野市	建設部長	山崎 秀樹	土木課長	八幡 正敏
	笠岡市	建設産業部長	田中 早苗	次長	坂本 明
	井原市	建設経済部長	田辺 義博		
	総社市	政策監兼建設部長	風早 俊昭		
	高梁市	産業経済部長	藤澤 政裕		
	新見市	建設部長	山本 幸弘	建設部次長	安達 悦久
	備前市	まちづくり部長	高橋 昌弘		
	瀬戸内市	産業建設部長	出射 正		
	赤磐市	建設事業部長	田中 富夫	建設課主幹	金島 正樹
	真庭市	建設部長	山本 光一	欠席	
	美作市	建設部長	真野 弘紀		
	浅口市	産業建設部長	松田 勝久		
	和気町	都市建設課長	南 博史		
	早島町	建設課長	鎌 幸嗣		
	里庄町	農林建設課長	赤木 功		
	矢掛町	農林建設課長	津島 昭二	管理住宅係長	平井 勝志
	新庄村	産業建設課長	大野 厚吉		
	鏡野町	建設課長	利岡 憲一		
	勝央町	産業建設部総括参事	長松 忠	産業建設部参事補	有本 順治
	奈義町	建設上下水道課長	小童谷 誠		
	西粟倉村	建設課長	神原 信之		
	久米南町	産業建設課長	徳方 利昭	上席主幹	森尾 利孝
	美咲町	建設課長	矢木 史朗		
	吉備中央町	建設課長	河内 永樹	課長補佐	河内 啓一郎
	公益財団法人岡山県建設技術センター	技術部長	鍋谷 敏昭		
オブザーバー	国土交通省中国地方整備局 道路部	地域道路調整官	高橋 利彰		
	国土交通省中国地方整備局 道路部	道路保全企画官	大久保 雅憲		
事務局	国土交通省中国地方整備局 岡山国道事務所 計画課・管理第二課				
	岡山県土木部 道路建設課				
	岡山県土木部 道路整備課				
	岡山市都市整備局 道路管理課				
	西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所 統括課				

第3回 岡山県道路メンテナンス会議
配席表

西日本高速事務局		岡山市事務局	
中国地整事務局		岡山県事務局	

中国地整 道路保全企画官	中国地整 地域道路調整官	中国地整 岡山国道事務所長	岡山県 道路建設課長 土木部	岡山県 道路整備課長 土木部	岡山市 都市整備局 道路管理課長
-----------------	-----------------	------------------	----------------------	----------------------	------------------------

西日本高速道路(株) 岡山高速道路事務所長				(財)岡山県 建設技術センター		
				吉備中央町		
本州四国連絡高速道路(株) 岡山管理センター所長				美咲町		
				久米南町		
倉敷市				西栗倉村		
				奈義町		
津山市				勝央町		
				鏡野町		
玉野市				新庄村		
				矢掛町		
笠岡市						
井原市						
総社市						
高梁市						
新見市						
			備前市	瀬戸内市	赤磐市	真庭市
			美作市	浅口市	和气町	早島町
			里庄町			

道路橋等五ヵ年点検計画の策定

■岡山県内 道路橋点検計画数

【平成27年1月9日現在】

(単位:橋)

道路管理者	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
NEXCO西日本	248	235	6	84	102	675
本四高速	10	14	10	19	21	74
国土交通省	191	115	86	191	158	741
岡山県	320	678	681	680	751	3,110
岡山市	50	503	3,025	3,025	3,027	9,630
倉敷市	290	1,375	1,375	1,375	1,441	5,856
津山市	2	335	335	335	328	1,335
玉野市	38	126	127	127	127	545
笠岡市	20	119	191	246	190	766
井原市	56	94	119	119	119	507
総社市	7	205	246	205	164	827
高梁市	24	165	161	164	161	675
新見市	99	200	200	200	200	899
備前市	49	123	101	142	91	506
瀬戸内市	2	100	160	160	161	583
赤磐市	34	134	92	109	200	569
真庭市	2	263	263	263	264	1,055
美作市	22	152	226	186	219	805
浅口市	10	56	115	115	115	411
和気町	2	50	100	61	65	278
早島町	57	44	30	41	41	213
里庄町	3	20	20	20	8	71
矢掛町	30	89	90	72	0	281
新庄村	2	13	14	12	13	54
鏡野町	59	104	84	98	110	455
勝央町	23	28	22	30	30	133
奈義町	26	54	46	47	33	206
西粟倉村	0	14	12	14	14	54
久米南町	44	39	21	18	17	139
美咲町	2	60	65	172	192	491
吉備中央町	43	83	74	60	64	324
合計	1,765	5,590	8,097	8,390	8,426	32,268

注1:数値は精査中であり、今後、変動の可能性があります。

注2:一部機関にあっては、今後、溝橋(カルバート)の点検計画数を追加する予定です。

注3:今後、予算の都合、関係者との協議等により、変更する場合があります。

■岡山県内 トンネル点検計画数

【平成27年1月9日現在】

(単位:橋)

道路管理者	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
NEXCO西日本	24	41	0	0	27	92
本四高速	0	1	2	2	4	9
国土交通省	0	0	2	0	10	12
岡山県	22	17	18	17	10	84
岡山市	0	0	0	13	2	15
倉敷市	0	0	0	0	10	10
津山市	0	0	0	1	0	1
玉野市	0	1	1	1	1	4
笠岡市	1	0	0	0	0	1
井原市						0
総社市	1	0	0	0	0	1
高梁市	0	2	0	0	0	2
新見市	6	0	0	0	0	6
備前市	0	0	0	0	1	1
瀬戸内市						0
赤磐市						0
真庭市	0	0	1	1	1	3
美作市	0	0	0	0	1	1
浅口市	1	0	0	0	0	1
和気町						0
早島町						0
里庄町						0
矢掛町	0	0	0	0	1	1
新庄村						0
鏡野町						0
勝央町						0
奈義町						0
西粟倉村	1	0	0	0	0	1
久米南町						0
美咲町	1	0	0	0	0	1
吉備中央町						0
合計	57	62	24	35	68	246

注1:数値は精査中であり、今後、変動の可能性があります。

注2:今後、予算の都合、関係者との協議等により、変更する場合があります。

■岡山県内 横断歩道橋点検計画数

【平成27年1月9日現在】

(単位:橋)

道路管理者	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
NEXCO西日本						0
本四高速						0
国土交通省	0	0	24	14	22	60
岡山県	0	0	24	25	25	74
岡山市	0	0	0	68	0	68
倉敷市	0	0	12	16	0	28
津山市	0	4	0	0	0	4
玉野市	0	0	0	0	1	1
笠岡市						0
井原市						0
総社市	0	0	1	1	1	3
高梁市						0
新見市						0
備前市						0
瀬戸内市						0
赤磐市						0
真庭市						0
美作市						0
浅口市	0	0	0	0	2	2
和気町						0
早島町						0
里庄町	0	1	1	1	1	4
矢掛町						0
新庄村						0
鏡野町						0
勝央町						0
奈義町						0
西粟倉村						0
久米南町						0
美咲町						0
吉備中央町						0
合計	0	5	62	125	52	244

注1:数値は精査中であり、今後、変動の可能性があります。

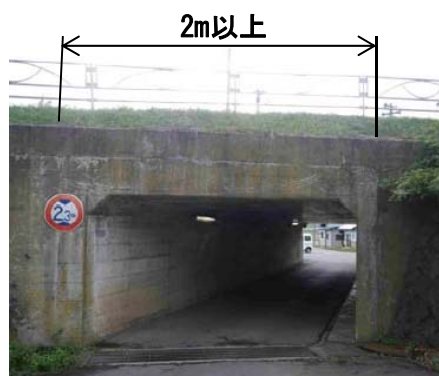
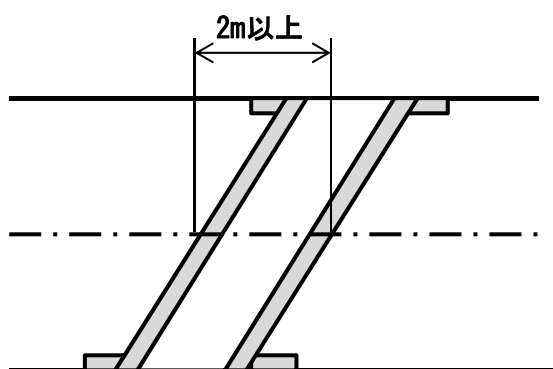
注2:今後、予算の都合、関係者との協議等により、変更する場合があります。

■橋長 2 m 以上かつ土被り 1 m 未満の溝橋（カルバート）を橋梁として取り扱う考え方

※橋梁として取り扱う溝橋（カルバート）は、道路の下を横断する道路や水路等の空間を得るために、盛土あるいは地盤内に設けられる構造物とし、剛性ボックスカルバート（短形（ボックス型））を対象とするものとする。

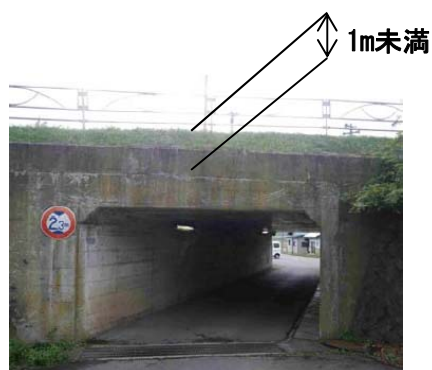
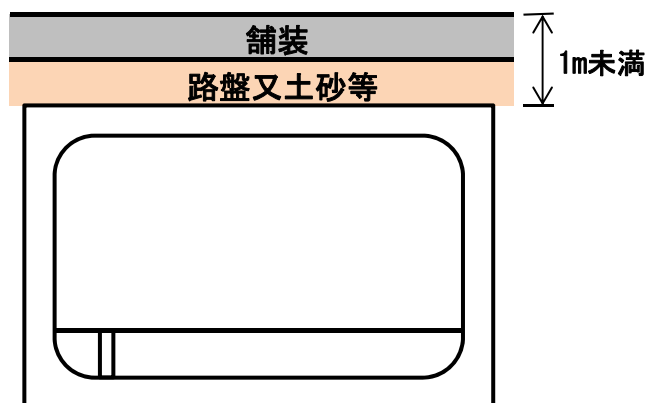
■橋長 2 m 以上の考え方

- ・橋梁として取り扱う溝橋（カルバート）の橋長は、外寸 2 m 以上とし、カルバート上部道路の道路軸方向（斜角考慮）の長さを計測した値とする。



■土被り 1 m 未満の考え方

- ・溝橋（カルバート）の天端から、歩車道等の上面の厚さが 1 m 未満のもの。
※土被り厚が測定的位置で異なる場合（車道部・歩道部等）は、最小値となる位置で判断するものとする。



社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進策（案）概要

出典：社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会第17回社会資本メンテナンス戦略小委員会（H26.12.15）

3つのミッション

- ・国や地方公共団体等は、今後、「現場のための正確な情報の把握・蓄積」「国民等の理解と支援を得るための情報の見える化」「メンテナンスサイクルを着実に回すための情報の共有化」の、社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションを推進
- ・特に重要な情報については、施設の点検が一巡する最初の5年間に、国・都道府県・市町村等の全ての施設管理者が協力し確実に施策を実施

ミッション（1）現場のための正確な情報の把握・蓄積

意義

○現場における施設の維持管理の実施、施設の健全な状態の維持 ○科学的かつ合理的な社会資本のメンテナンスの実現

留意事項

- ・職員の負担
- ・費用の増加
- ・市町村等の人員不足

①施設台帳等の確実な整備

- ・施設台帳等の整備・更新を確実に実施
- ・施設の点検結果、健全性の評価等の情報について施設台帳等に記録（標準書式の整備）

②点検結果等の記録の徹底

- ・点検結果等の正確な記録の徹底
- ・維持管理情報の充実・蓄積

③データ入力様式の標準化

- ・標準様式の作成など施設分野ごとにデータ入力の省力化・標準化を推進
- ・点検業者等による点検結果の入力等を推進

④社会資本情報の集約化・電子化

- ・維持管理に関する情報を集約しデータベースを作成、二次利用可能な形式で電子化

⑤社会資本情報プラットフォームの構築

- ・各分野のデータベースから必要な基本情報や維持管理情報を収集・集計整理し、横並びで閲覧・検索

ミッション（2）国民等の理解と支援を得るための情報の見える化

国民等

意義

- 社会資本の現状・課題等の周知、国民等の支持・支援
- 健全性が著しく低い施設、対応措置等の情報提供、事故・災害リスクの低減
- 施設の転用・統廃合、費用負担等への理解・協力
- 施設の適正利用の促進
- 施設点検等への自主参加の促進
- 行政の取組状況の確認、住民との信頼構築

留意事項

- ・テロや犯罪などを誘発する可能性のある情報の選別

情報公開・理解促進

①施設の健全性等の集計情報の公表

- ・健全性等の現状を施設分野ごとに公表
- ・国・地方公共団体等別にわかりやすく公表
〔点検実施率、健全性の評価別施設割合〕
〔要対策老朽施設化リスト など〕
- ・学術団体等による評価の取り組みへの協力

②個別施設の点検結果等の公表

- ・施設名、所在地、建設年度 など
- ・点検実施年度（最新）、健全性の評価 など

③維持管理情報ポータルサイトの開設

- ・国、地方公共団体等の様々な情報を公表
〔施設の転用・統廃合、劣化・崩落事例 など〕

④地域住民との協働点検等の実施

- ・地域住民との協働点検、美化活動等の実施
- ・地域住民からの提供情報の受取体制構築

ミッション（3）メンテナンスサイクルを着実に回すための情報の共有化

国・地方公共団体等

意義

- 国や地方公共団体等の施設管理者
- 維持管理レベルの確認（自己診断の実施）
- 目標設定、達成状況
- 職員等のスキルアップ
- 危機意識を促す
- 指導的役割を担う国や都道府県
- 点検状況等のモニタリング
- 市町村への助言・指導
- 戦略的マネジメントの推進
- 市町村支援への活用

留意事項

- ・記載方法等の統一化
- ・システム間の連携 など

メンテナンスの確実な実施

①施設情報の階層化

- ・国が全施設共有化すべき重要情報
- ・施設管理者が取得すべき情報

②進捗状況・管理指標の共有

- ・全国的な傾向・ベンチマーク分析

③最新の技術関連情報の共有

- ・技術開発の状況
- ・維持管理研修等の実施状況 など

④メンテナンスに関する会議の設置・活用

- ・施設管理者がデータ共有・進捗管理

⑤施設の設計・施工等の情報との連携

- ・新設時の情報との連携（CIMなど）

民間企業・大学等の研究機関

意義

- 効率的なメンテナンスの実現
- メンテナンス技術の高度化
- 民間主導による研究技術開発促進
- メンテナンス産業発展への貢献

研究・技術開発促進

⑥研究・技術開発と連携したデータの公開

- ・研究・技術開発に有用なデータの公開
- ・公開可能な情報のデータカタログを作成
- ・目的等の明確化、結果のフィードバック

⑦相談窓口の設置

- ・研究・技術開発に資するデータ提供に関する相談窓口を設置

留意事項

- ・データ流出（テロ・犯罪等）
- ・損害賠償への対応 など

施策の実現に向け併せて実施すべき事項

- ①国・都道府県等による市町村支援の実施
- ②取り組み状況等の見える化
- ③インフラメンテナンス国民会議（仮称）の設置
- ④インフラメンテナンスに関する表彰制度の創設

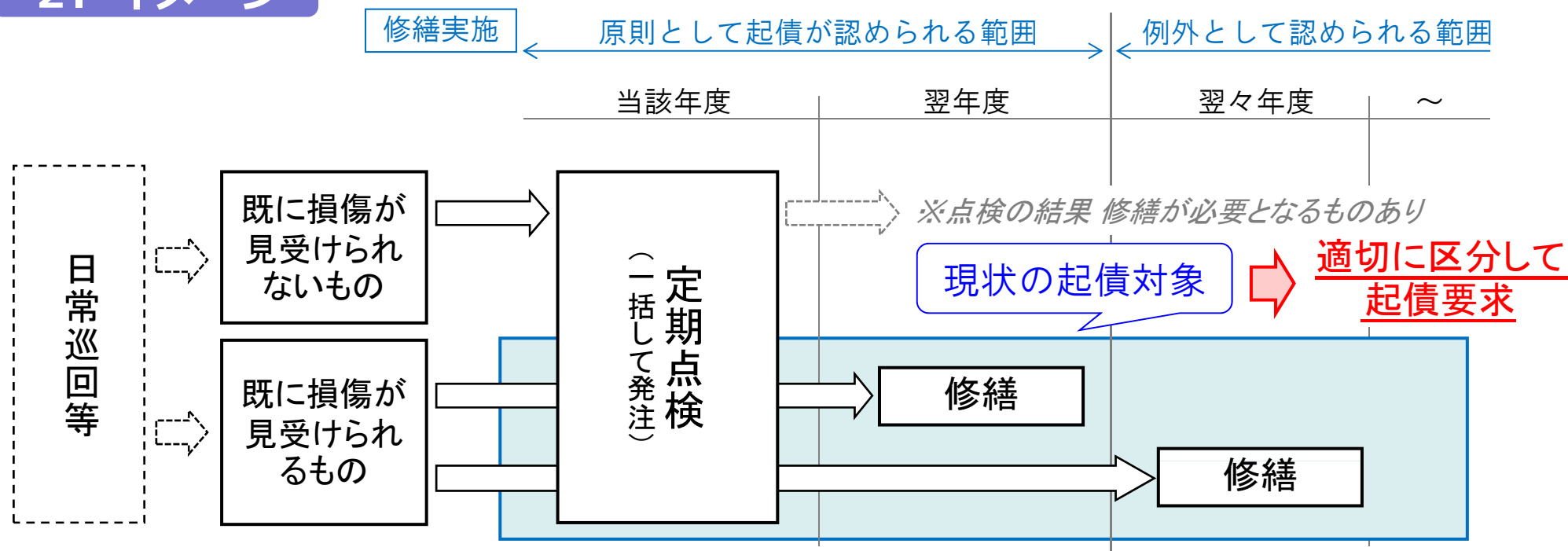
■ アクセス制限無し ■ 施設管理者に限りアクセス可 ■ 特定の研究者に限りデータ提供

定期点検に係る地方債の取扱いについて

1. 概要

○定期点検に係る地方債の取扱いについては、平成26年3月31日事務連絡「道路の点検等にかかる地方債の取扱いについて（補足）」の記1，2に該当する地方債の対象となる点検等と、地方債の対象とならない点検等を一括して発注する場合であっても、地方債の対象となる点検等について適切に区分した上で起債要求することが可能

2. イメージ



岡山県跨道橋連絡会議（仮称）について

<会議の位置付け>

- 道路メンテナンス会議の下部組織として設置
（事務局：各都道府県の道路メンテナンス会議とりまとめの国道事務所）

<対象施設>

○全ての高速道路、直轄国道、公社道路及び一部（※）の補助国道、都道府県道、市町村道を跨ぐ施設のうち、鉄道橋を除く道路法上の道路以外の施設（農道、林道、認定外道路、私道、水管橋等）

※補助国道、都道府県道、市町村道については、「緊急輸送道路」に指定されている道路を対象

<メンバー>

- 上記、「対象施設」の管理者及び関係する道路管理者

<依頼事項>

- 跨道橋の占用許可者として、跨道橋の施設管理者に以下の依頼 等
 - ・ 対象施設について、省令に準じ点検・診断を定期的実施
 - ・ 点検計画を策定
 - ・ 点検・診断結果について、道路管理者に報告
 - ・ 診断結果が「速やかな修繕が必要」な場合は、速やかに修繕工事を実施

<スケジュール>

- 第3回岡山県道路メンテナンス会議において、同会議の設置を決定
- H26年度内に、「第1回跨道橋連絡会議（仮称）」を開催し、その後適宜開催

岡山県跨道橋連絡会議規約（案）

（名 称）

第1条 本連絡会議は、「岡山県跨道橋連絡会議」（以下「連絡会議」という。）と称する。

（目 的）

第2条 連絡会議は、岡山県道路メンテナンス会議規約第4条第4項に規定の「専門部会」に位置付けるものとし、岡山県内における次条に規定する対象施設について、対象施設の管理者及び関係する道路管理者間で協議・調整を行うことにより、対象施設の予防保全・老朽化対策の強化等を図ることを目的とする。

（対象施設）

第3条 対象施設は、岡山県内の高速道路、直轄国道及び地方道路公社道路の全ての道路並びに補助国道、県道及び市町(村)道のうち「緊急輸送道路」に指定されている道路を跨ぐ道路法上の道路以外の施設（ただし、鉄道橋を除く。）とする。

（協議・調整事項）

第4条 連絡会議は、その目的を達成するため、対象施設に係る次の事項について、情報共有及び協議・調整を行う。

- 一 対象施設の維持管理等に係る情報共有に関すること。
- 二 対象施設の点検、修繕計画等の把握・調整に関すること。
- 三 対象施設の技術基準類、健全性の診断、技術的支援等に関すること。
- 四 その他対象施設の管理に関連し、会長が必要と認めた事項に関すること。

（構 成）

第5条 連絡会議は、別表に掲げる、対象施設の管理者及び関係する道路管理者でもって構成する。

- 2 連絡会議には、会長及び副会長4名を置くものとし、会長は国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所長、副会長は岡山県土木部道路建設課長、同道路整備課長、岡山市都市整備局道路管理課長及び西日本高速道路株式会社中国支社岡山高速道路事務所長とする。
- 3 会長に事故等あるときは、副会長がその職務を代行する。

（会議の運営）

第6条 連絡会議は、必要に応じて会長が招集し、運営する。

- 2 連絡会議には、必要に応じて、会長が指名する者の出席を求めることができる。

（事務局）

第7条 連絡会議の事務局は、国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所管理第二課、岡山県土木部道路建設課、同道路整備課、岡山市都市整備局道路管理課及び西日本高速道路株式会社中国支社岡山高速道路事務所統括課に置く。

（その他）

第8条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度協議して定める。

（附 則）

この規約は、平成27年〇月〇〇日から施行する。

(別表)

岡山県跨道橋連絡会議 名簿（案）

	所 属	役 職	備考
会 長	国土交通省中国地方整備局	岡山国道事務所長	道路管理者
副会長	岡山県土木部	道路建設課長	道路管理者
副会長	岡山県土木部	道路整備課長	道路管理者
副会長	岡山市都市整備局	道路管理課長	道路管理者
副会長	西日本高速道路株式会社中国支社	岡山高速道路事務所長	道路管理者
	〇〇市	〇〇局 〇〇課長	道路管理者
	〇〇市	〇〇局 〇〇課長	対象施設の 管理者

現在調整中

事務局	国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 管理第二課 岡山県土木部道路建設課、道路整備課 岡山市都市整備局道路管理課 西日本高速道路株式会社中国支社 岡山高速道路事務所 統括課
-----	--

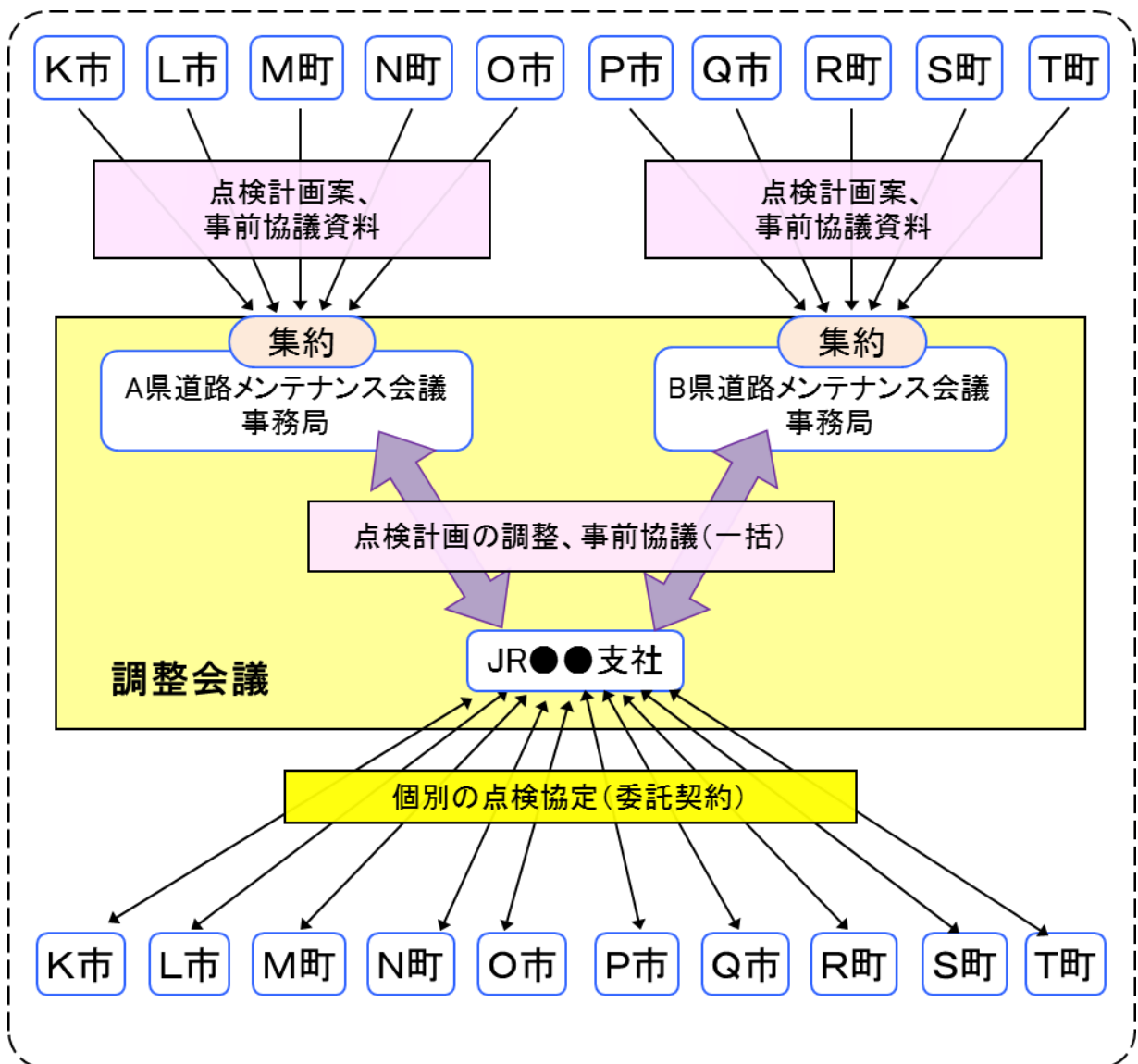
オブザーバー	国土交通省 中国地方整備局	道路部 地域道路課長 道路部 道路構造保全官
--------	---------------	---------------------------

道路管理者とＪＲ支社との調整会議について

JR 跨線橋の点検に向けた協議を効率的に行うため、道路メンテナンス会議事務局（道路管理者）とＪＲ支社をメンバーとした調整会議を、設置準備中。

道路メンテナンス会議事務局が、各地公体の JR 跨線橋点検計画等を一括して JR 支社と協議・調整することにより、効率化を図る。

（協議・調整のイメージ）



技術支援の取り組み状況

～岡山県・道路メンテナンス会議の取り組み～

岡山国道事務所

○目的

自治体担当者を対象に、国土交通省で実施している橋梁点検の状況を現地で視察・体験し、今後の点検・維持管理の参考にさせていただく。

○実施日時・場所(予定)

	実施時期	場所	国道名	橋梁名	対象者
第1回	平成26年10月31日	倉敷市	2号	大西高架橋	自治体担当者
第2回	平成26年11月27日	岡山市	2号	豊成高架橋	自治体担当者
第3回	平成26年12月5日	瀬戸内市、岡山市、笠岡市	2号	金浦橋、平井高架橋、備前大橋	国土交通省職員、自治体担当者
第4回	平成27年 1月	久米南町	53号	弓削跨線橋	自治体担当者

○第1回 国道2号 大西高架橋(H26.10.31)【参加者:県及び18市町村 約70名】



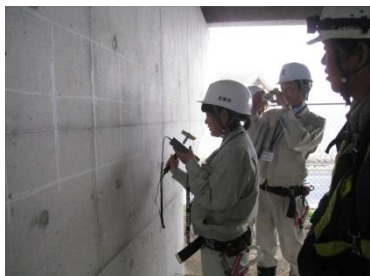
概要説明状況



打音点検体験状況



鉄筋探査状況



コンクリート強度確認状況



損傷確認状況



マスコミ取材状況
(山陽新聞・読売新聞・OHK)



平成26年11月2日
山陽新聞(24面)

山手などで、今回実施する。
今回のこの日は、県と18市町の職員約70人が参加。国の公務員業務を委託している業者から説明を受けた後、4班に分かれ、1981年度と2001年に建設された上線橋梁の種類の高架橋の傷みや土台などをチェックした。

参加者は、コンクリートの橋脚をハンマーでたたいた音の違いで内部の状態を確認したり、超音波で金属部品

の厚さを計測する作業を体験。倉敷道路管理課の岡村整・補修係長は「作業は書面に委託しているが、最終確認の参考になる」と話した。

道路の老朽化対策で国交省は7月から、長年国交省は7月から、長さ約1kmの橋梁全てのトンネルについて、管理者に5年ごとの目視点検など業務付けた。県内では概約3万2千本、トンネル約200カ所が対象。（萩原聡）

○第2回 国道2号 豊成高架橋(H26.11.27) 【参加者:県及び11市町村 約40名】



概要説明状況



打音点検体験状況



損傷内容説明状況

○第3回 国道2号 金浦橋・平井高架橋・備前大橋(H26.12.5) 【参加者:国交省・県及び11市町村 約90名】

■国道2号 金浦橋



概要説明状況



損傷状況確認状況



打音点検体験状況

■国道2号 平井高架橋



概要説明状況



損傷内容確認状況



損傷内容確認状況

■国道2号 備前大橋



概要説明状況



損傷内容確認状況



詳細調査説明状況

橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅰ期)研修が開催されました!

本研修は自治体支援の一環として、今年度から新たに取り入れられた研修です

地方自治体及び整備局の職員24名(内、整備局職員2名)に対し、今後、急速に老朽化が進む社会資本ストックの確実な維持管理を行うため、橋梁等の維持管理に必要な知識と実務的な点検・評価の技能を修得することを目的として、11月10日～14日の5日間の日程で研修が行われました。

講義 ～国交省道路局、国総研等が監修、取りまとめた全国統一テキストを使用～

道路橋のマネジメント

知見のある技術者が想定外の事を意識して点検することが重要!



国総研 玉越橋梁研究室長



地方自治体の方から積極的な質問

道路構造物をめぐる今日的課題と今後の方針

鋼部材の亀裂、破断は危険のサイン! 詳細調査が必要



大久保道路保全企画官



Co部材の損傷と診断



藤原道路構造保全官

定期点検の実施と記録



中技 錦織技術情報管理官

シールド、大型ガバート等の定期点検要領概論



中技 高崎維持管理技術課長

支承・付属物等の損傷の種類と診断



道永道路保全企画係長

点検の現地実習 ～損傷の確認と健全性の診断～

鋼橋(海田新橋)



近接目視、打音検査

横断歩道橋(海田新橋)



鋼板腐食状況及び水みち確認

ボックスガバート(海田町地内)



近接目視、打音検査



点検結果の記録

広島ホームテレビでのニュース放映



〈研修生(岡山・笠岡市の職員)〉
(研修成果を)持ち帰って、(笠岡市の)係内でちょっと話をし、直営点検がなるべく多くできるようにしていきたいです。

<研修を終えて>

(研修生の声) → ・点検業務を委託し業者へ指導する際及び直営点検を実施する際の参考になった。

・実務で直ぐ活かすのは難しいと思いますが、橋梁点検の着眼点等が理解できたため、とてもいい研修でした。 など

(総括) ・地方自治体の方との話の中で、限りある予算と人員で今後どのように点検、補修を行っていくかが喫緊の課題となっており、これから職員全体の知識・技術の底上げを行ううえで、非常に有用な研修であるという意見が多くあった。また、点検後の補修・修繕工法について学ぶことができればより充実した内容になるとの意見もあった。

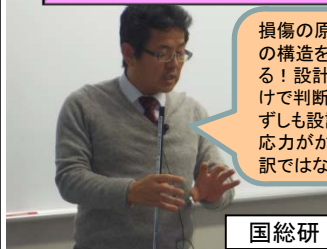
橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅱ期)研修が開催されました！

本研修は自治体支援の一環として、今年度から新たに取り入れられた研修です

地方自治体及び整備局の職員33名(内、整備局職員1名)に対し、今後、急速に老朽化が進む社会資本ストックの確実な維持管理を行うため、橋梁等の維持管理に必要な知識と実務的な点検・評価の技能を修得することを目的として、12月15日～19日の5日間の日程で研修が行われました。

講義 ～国交省道路局、国総研等が監修、取りまとめた全国統一テキストを使用～

点検に関する法令及び
技術基準の体系



損傷の原因は現地の構造を見て判断する！設計の考え方だけで判断しない！必ずしも設計どおりの応力がかかっている訳ではない！

国総研 玉越橋梁研究室長

橋の構造の基本



道路構造物をめぐる今日の課題と今後の方針



大久保道路保全企画官



自治体の方から積極的な質問

鋼部材の損傷と診断



樋野道路構造保全官

Co部材の損傷と診断



藤原道路構造保全官

シールド、大型ガバート等の
定期点検要領概論



中技 錦織技術情報管理官

支保・付属物等の
損傷の種類と診断



道永道路保全企画係長

点検の現地実習 ～損傷の確認と健全性の診断～

鋼橋(海田新橋)



近接目視、打音検査

横断歩道橋(海田新橋)



塗膜劣化状況の確認及び原因の追及

ボックスガバート(海田町地内)



近接目視、打音検査



橋梁上面(伸縮装置)の異常の有無を確認



鋼板腐食状況及び水みち確認



点検結果の記録

＜研修を終えて＞

(研修生の声) → ・近接目視が如何に大切かが理解できたように思う。

・今後、行動計画策定や橋梁点検を基に補修工事を実施する予定であるため有用であった。 など

(総括) ・地方自治体の方との話の中で、限りある予算と人員で今後どのように点検、補修を行っていくかが喫緊の課題となっており、これから職員全体の知識・技術の底上げを行ううえで、非常に有用な研修であるという意見が多くあった。また、実践的な現地実習(点検～診断)は好評であり、もう少し時間を増やしてしっかり学びたいとの意見もあった。

トンネル管理実務者Ⅰ研修が開催されました！

本研修は自治体支援の一環として、今年度から新たに取り入れられた研修です

整備局及び地方自治体の職員15名（内、整備局職員10名）に対し、今後、急速に老朽化が進む社会資本ストックの確実な維持管理を行うため、トンネルの維持管理に必要な知識と実務的な点検・評価の技能を修得することを目的として、11月26日～28日の3日間の日程で研修が行われました。

講義 ～国交省道路局、(独)土木研究所が監修、取りまとめた全国統一テキストを使用～

点検に関する法令及び技術基準の体系

老朽化対策工の技術は進歩が著しく、NETISを活用するなど、適正な工法を選定する必要がある！



(独)土木研究所 日下 主任研究員

トンネルの計画・設計



道路構造物をめぐる今日の課題と今後の方針

技術支援の体制として地方公共団体を含めた道路メンテナンス会議を設置している、十分活用していただきたい。



大久保 道路保全企画官

トンネルの変状と診断、トンネルの補修・補強



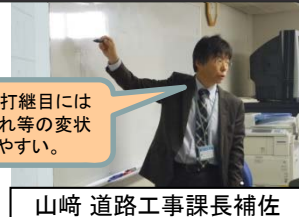
藤原 道路構造保全官

補修工法の決定にあたり、何に注意をして選定していくべきか！



研修生からの質問

覆工の打継目にはひび割れ等の変状が生じやすい。



山崎 道路工事課長補佐

トンネルの施工

トンネル本体工の点検



道永 道路保全企画係長

点検の現地実習 ～損傷の確認と点検、診断～

国信第一トンネル（国道2号東広島バイパス）

向山トンネル（国道54号）



覆工上部を近接目視



点検ハンマーによる打音点検



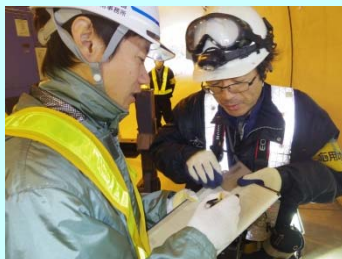
近接、遠望目視による点検



点検結果をスケッチ



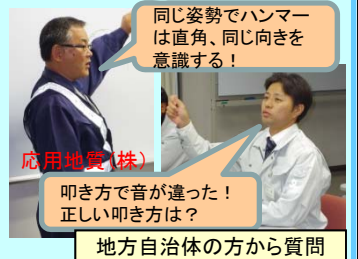
高所作業車による近接目視



点検結果の記録



点検、診断のポイントを説明



現地点検を終えて質疑応答

同じ姿勢でハンマーは直角、同じ向きを意識する！

応用地質(株)

叩き方で音が違った！正しい叩き方は？

地方自治体の方から質問

<研修を終えて>

(研修生の声) → ・維持管理しているトンネルの異常時の対応やコンサルの設計の確認に役立つと思う。

・広い視点から詳細な内容まで知識を習得でき、現在抱えている業務に大変有用です。

・普段の業務では知り得ない、点検の位置付けや国の動き(法整備)、具体的な内容はかけがいのないものでした。 など

(総括) ・地方自治体の方との話の中で、限りある予算と人員で今後どのように点検、補修を行っていくかが大きな課題となっており、これから職員全体の知識・技術の底上げを行ううえで、非常に有用な研修であったという意見が多くあった。

岡山県・道路メンテナンス会議 今後のスケジュール(案)

5月	『道路メンテナンス会議』(第1回) ○設置 ・岡山県 5/16 ○内容 ・規約の確認 ・今後の取組方針 等	【道路メンテナンス会議の取組み】
6月	点検要領通知 6/25	【これまで】 『道路メンテナンス会議』(第1回) ●アンケート調査等によりニーズ・課題の把握 ・地域一括発注 ・点検対象施設数 ・点検等の現状 等 ●県民局キャラバン(6/25～27) ・全市町村の担当者と課題等に対して直接意見交換
7月	省令施行 7/1 点検の優先順位の 考え方送付 7/24	【7月末から秋口までに】 ●新しい定期点検要領の説明(8/1第1回幹事会)
8月	点検歩掛送付 8/4 ■技術支援メニュー ・新しい定期点検要領説明(幹事会) 点検計画策定依頼 8/29	●情報発信に関する取り組み ・「パネル展」(8/4～9/30) ・「現地見学会(対象:岡山大学学生)」(8/6) ●優先順位の考え方・点検計画の策定に向けて(10/1第2回幹事会)
9月	『道路メンテナンス会議』(第2回)10/16 ○内容 ・点検計画について ・技術支援・情報発信の取り組み状況について ・今後のスケジュール(案)について	●技術支援に関する取り組み ・橋梁保全(上級)研修(10/9～10/10) ・津山市橋梁保全実践講座(10/16)
10月	■技術支援メニュー 【研修】 ・橋梁管理実務者(Ⅰ)研修 ・トンネル管理実務者(Ⅰ)研修 【講習会】 ・橋梁点検講習会 ・橋梁保全実践講座	●跨線橋などJR等関係機関との協議開始 ・踏切道等連絡調整会議 等 ●H26点検計画策定 ・優先点検箇所(跨道橋・跨線橋、緊急輸送道路の橋梁 等)
11月	『道路メンテナンス会議』(第3回)1/9 ○内容 ・今後5年間の点検計画策定、公表 ・跨道橋連絡会議の設置 ・JR跨線橋調整会議	『道路メンテナンス会議』(第2回) ●技術支援に関する取り組み ・橋梁合同現地確認 第1回 R2大西高架橋(10/31) 第2回 R2豊成高架橋(11/27) 第3回 R2金浦橋、R2平井高架橋、R2備前大橋(12/5)
12月		●今後5年間の点検計画策定(道路管理者毎) ・点検対象数 ・優先点検箇所 ・今後5年間の点検計画公表
1月		『道路メンテナンス会議』(第3回) ●技術支援に関する取り組み ・橋梁合同現地確認 第4回 R53弓削跨線橋(1月下旬) ●JR跨線橋調整会議の開催(1月下旬)
2月	『道路メンテナンス会議』(第4回) ○内容 ・H26点検結果等の報告 ・H26取組み(技術支援、講習会等)の報告 ・H27取組み方針の決定 ・H27取組みスケジュール 等	【H27.3月までに】 ●地域課題の把握、解消に向けた取組み ・H26点検結果等の進捗確認 ・H27点検業務等の地域一括発注方針確認 ・H27技術支援メニュー策定(講習会、研修等) ・H27取組み(点検計画、支援等)の公表(会議開催)
3月		『道路メンテナンス会議』(第4回) ●岡山県跨道橋連絡会議(第1回)の開催(予定)